

## 部活動地域展開先行地域視察

多治見市・名古屋市・神戸市・熊本市を訪問し、**部活動の地域展開**について視察しました。教員の負担軽減だけでなく、中学生の“**放課後の居場所づくり**”、やりたいことが続けられる“**環境整備**”が何より重要だと再確認しました。地域クラブの受け皿づくり、指導者確保、費用負担、会場や移動手段など、全国各地で課題は共有でき多岐にわたりますが、先行自治体の工夫と成果を北九州市の実情に合わせて取り入れ、誰もが参加しやすい仕組みを形にしていきます。子どもたちがやってみたくと思った時に安心して挑戦できる放課後を創るため、引き続き全力で取り組みます。

### 【あしがき】

本号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。どこへでも、まず会いに行き、耳を傾け、動きます。

LINE・DM・お電話などで寄せられる皆様の声を起点に、課題を解きほぐし、数字と実装で前に進めます。公式LINEも開設しました。活動報告やイベント案内をお届けし、ご意見も受け付けていますので、ぜひ友だち追加をお願いします。北九州の未来のために【常に熱く、常に**全力!**】で取り組んでまいります。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。

会える!!  
市議会議員に



SNSのフォローをお願いします日々の活動をご覧ください

山田 だいすけ

Instagram



Facebook



ホームページ



北九州市議会議員  
山田だいすけ事務所

093-482-3907

daisukeyamada0728@gmail.com

〒803-0841 北九州市小倉北区清水3丁目10-17-101(メゾンドアルタス清水)

## 北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会が始まりました。

会派を代表して、「北九州空港機能強化・利用促進等調査特別委員会」の委員に就任しました。第1回委員会では、北九州空港を取り巻く環境や現状を共有し、今後の検討の土台となる課題認識を整理しました。空港は市民の移動の利便性にとどまらず、観光・ビジネス・物流など地域経済の成長にも直結する重要な基盤です。陸・海・空の交通基盤がそろった北九州市の強みを生かし、空港を軸に人流・物流を一段と加速させ、地域発展の「**起爆剤**」にしていきたいと考えています。今後も現場の声とデータを踏まえ、アクセス向上、路線・便の拡充、貨物機能の強化、企業誘致やMICE等との連動まで、実効性ある提案を積み重ね、北九州市の発展に資する議論を“**公共**



**交通のプロ**”として、リードしてまいります。

北九州市 小倉北区  
山田だいすけ  
公式LINE  
はじめました



www.daisukeyamada0728.com

やま だ

## 山田だいすけ



～北九州の今と未来をみんなと語る～

山田だいすけレポート (令和8年 冬号)

## 令和8年 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

市議会議員になって約一年、初めて議員として年を越しました。日頃から支えてくださる皆さまに心より感謝申し上げます。

今年も「常に熱く、常に全力」を胸に、現場を歩き、皆さまの声を聞き、そして“対案”をしっかりと用意して市政を前へ進めます。地域交通、防災、子育て・教育、福祉など、待ったなしの課題に真正面から向き合い、「誰一人取り残さない市政」を形にしていく所存です。なかでも、中学生の部活動の地域展開は大きな転換点です。党派や会派を超えて子どもの活動機会を守り、先生方の負担軽減、家庭負担の見直し、地域の受け皿づくりまで丁寧に整えるよう、子育て世代としても市議会全体で全力で取り組みます。ぜひ皆様の率直な声をお寄せください。私の長男も部活で育ち、中一の息子たちは部活に育ててもらっており、小学生の息子たちはこれから部活に育ててもらおう世代の子供たちです。子供たちがやりたい時にやりたいことができるように、文武両道が叶う教育環境を教育委員会とともに整えたいと思います。



去年は、清水交差点を中心に朝のご挨拶を89回行いました。



2026年は100回を目標に、今年も皆様のもとへ足を運び、さらに現場に立ち続けます。毎日学び、皆さまのお役に立てるよう、全力で働きます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

北九州市議会議員 山田大輔



# 12月議会での報告 ～初60分～

## ネイチャーポジティブ宣言と

### 「これからの北九州」の描き方

12月議会では、ネイチャーポジティブ（自然を回復させる取組）を「市民の暮らしと仕事につながる言葉」に翻訳し、2030年に向けた北九州の未来像を分かりやすく示すよう求めました。市からは、自然と触れ合う機会を増やして“自然のファン”を広げ、企業のサステナブルな取組の実践にもつなげ、都市のブランド力と市民の誇りを高める方向性が示されました。



◎学校・地域・企業・NPO等の現場プレイヤーが主役になれる参加の仕組みづくりを、引き続き私も後押しします！！

## 企業と連携した

### 「体験型ふるさと納税」の拡充

制度改正が続く中でも選ばれる北九州にするため、「物」だけでなく“ここでしかできない体験”を返礼品の柱に育てる提案を行いました。市からは、体験型返礼品を既に複数展開しており、寄附実績もあること、さらに企業連携の体験ツアーは魅力が大きい一方で安全管理や企業側の理解など丁寧な設計が必要、との認識が示されました。◎ものづくり・環境・港湾・交通など北九州の強みを、学びとワクワクの体験として磨き上げ、交流人口・関係人口の拡大につなげていきます。

## 防犯カメラ設置補助事業

### （安全・安心の底上げ）

一昨年末の事件を受け、地域の不安を減らす具体策として、防犯カメラ設置補助事業の実施状況と今後の拡充を問いました。市からは、今年度（令和7年度）は地域団体・事業者あわせて約2,100万円規模で整備が進む見込みで、一定の効果認識も示されました。来年度予算や、これまで対象外だったNPO等への拡大も「検討する」との答弁がありました。

◎制度が現場で使いやすくなるよう、設置場所の調整や運用ルールなど“詰まりどころ”も含めて

改善を求めています。



## 豪雨時のアンダーパス

### 地下通路の冠水対策

近年増える短時間豪雨に備え、アンダーパス等の排水能力の考え方と、通行止め判断の仕組みを確認しました。市からは、冠水警報装置・通行止めゲート・排水ポンプ等を組み合わせ、冠水状況に応じて自動表示と通報の仕組みが説明されました。

さらに、今年8月の豪雨では複数箇所で行き止めを実施し、人的被害はなかったこと、



特に水位が上がりやすい箇所は現地参集の基準を前倒しするなど運用改善していることも示されました。◎市民の安全を最

優先に、想定を超える雨への備えを継続して求めます。

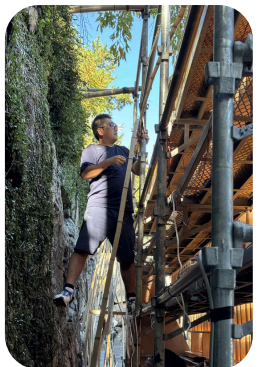
## 原町緑道の安全確保（滑りやすさ・閉鎖区間・今後の整備）

清水校区からの要望を受け、子どもたちの通学路にもなる原町緑道でヤマモモの実が落ちて滑りやすくなる課題や、閉鎖区間を含めた安全確保について取り上げました。開設から年数が経ち樹木が成長したことで歩きにくさが出ていること、また一部区間は隣接民地の擁壁の老朽化等により安全上、やむを得ず閉鎖していることが市から説明されました。今後は、地域と協議しながら樹木の間引き・枝抜き、舗装や照明の改修、ベンチ更新などを順次進める方針が示されました。◎通学路でもあるため、**具体の改善につながるよう継続して注視していきます。**



小倉北区役所まちづくり整備課から地域の皆様には順次改善策・計画の説明をさせていただきます。小倉北区役所の皆様、公園愛護会の皆様いつもありがとうございます。

小倉城竹あかりの開催期間中、毎日会場に入り、ボランティアとして、運営のお手伝いをさせていただきました。



特に高校生や大学生ボランティアの皆さんと力を合わせ、灯籠の点灯・消灯、来場者の誘導、安全確認、片付けまで一連の作業を担当し、幻想的な光に包まれた小倉城に多くの方が足を運び、まちの回遊と賑わいが生まれる瞬間を肌で感じました。現場では動線や案内表示など改善点も共有し、次回に向けた工夫も重ねました。



ご来場の皆さま、関係者の皆さまに感謝申し上げます。



◎今後も小倉北区の魅力発信と賑わい創出に、現場主義で全力で取り組みます。

2025年10月25日、県営中央公園・北九州パレスで開催された「ワンヘルスフェスタ2025in北九州」

に、今年もスタッフとして参加しました。ワンヘルスは「人・動物・環境の健康はひとつ」という考え方。福岡県も関わる形で、ふれあい動物園やドッグラン、謎解きウォーキング、学生の展示など多彩な企画が行われ、多くの来場者で賑わいました。◎人もペットも健康に、感染症対策や日頃の健康づくりはもちろん、災害時のペット同行避難など防災の視点も含め、現場で得た声を今後の施策・計画に反映し、実践を広げます。

